

生有研中西重忠所長が、Innovators in Science Award を受賞しました。

(2017 年 10 月 31 日)

2017 年 10 月 31 日、ニューヨーク科学アカデミーと武田薬品工業株式会社は Innovators in Science Award を当財団生物有機科学研究所中西重忠所長に授与することを決定し、本賞の授与式とシンポジウムを 11 月 28-29 日にニューヨーク科学アカデミー（ニューヨーク市）で開催することを発表しました。

中西所長は神経科学の分野に遺伝子工学の手法を導入し、神経情報を伝える神経伝達物質とその受容体の脳機能における役割とメカニズムに関して数多くの画期的な成果を挙げてきました。初期には神経ペプチドの生合成とその受容体の研究を進め、神経ペプチドは数個のペプチドを含む前駆体から生成され、それらはそれぞれの受容体に作用して中枢神経と末梢組織を協調的に制御しているという神経ペプチドの基本的な作用機序を明らかにしました。中西所長は引き続き神経の興奮を引き起こす中心的な受容体、グルタミン酸受容体の研究を展開し、グルタミン酸受容体の実体を分子レベルで明らかにしました。さらに、中西所長はグルタミン酸受容体の作用メカニズムの研究を進め、記憶、学習などの脳機能の発現における神経情報の処理と統合の基本的なメカニズムを明らかにしました。この研究に当時生有研研究員であった大阪市立大学名誉教授大船泰史博士らの合成した受容体選択的グルタミン酸誘導体が貢献しました。

中西所長の研究は現在の脳科学の発展に大きな貢献を果たしたものであり、また神経疾患、精神疾患の創薬開発の基盤与えるものとして国際的に高く評価されその業績によって今回の賞が授与されました。

中西所長は 2015 年 7 月に生物有機科学研究所の所長に就任し、同年 11 月に文化勲章が授与されました。また今回、本賞が授与されたことは、当財団としても大変喜ばしいことです。

Innovators in Science Award

Innovators in Science Award は、神経科学、消化器病学、腫瘍学といった疾患領域および再生医療に関する研究を対象として、かつてない革新的な研究を表彰するもので、2016 年 11 月に武田薬品工業株式会社とニューヨーク科学アカデミーが共同創設しました。4 年間のアワードプログラムの初年度は神経科学分野のグローバルで革新的な研究成果が対象となりました。有望な若手研究者、当該分野でその地位を確立した研究者のそれぞれ 1 名に授与され、表彰者にはそれぞれ 200,000 米ドルが与えられます（武田薬品工業、ニューヨーク科学アカデミーによるニュースリリース 2017 年 10 月 31 日より引用）。

中西所長は、当該分野でその地位を確立された研究者として同賞を受賞しました。

The New York Academy of Sciences

1817 年以来、科学的な研究、教育、政策を推進することにより社会が抱える課題をイノベーションによって解決してきた、独立した非営利組織です。本アカデミーは 100 カ国に 20,000 人以上の会員を有し、人類に貢献するようなグローバルなサイエンス・コミュニティを創造しています（武田薬品工業、ニューヨーク科学アカデミーによるニュースリリース 2017 年 10 月 31 日より引用）。